

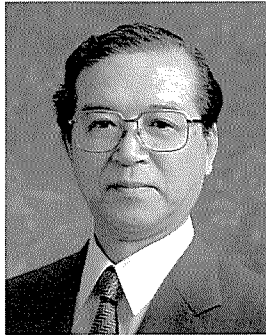


著作目録（平井和喜）

著者	東北大学史料館
号	610
発行年	1996-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065427

平井和喜教授著作目録

平成8年3月
東北大学記念資料室
(著作目録第610号)



平井和喜教授略歴

生年月日 昭和7年4月29日生
本籍地 宮城県
現住所
所 属 東北工業大学大学院工学研究科

学歴

昭和30年3月 東北大学工学部建築工学科卒業
昭和30年4月 東北大学大学院工学研究科（建設工学専攻）修士課程入学
昭和32年3月 東北大学大学院工学研究科（建設工学専攻）修士課程修了
昭和32年4月 東北大学大学院工学研究科（建設工学専攻）博士課程入学
昭和36年3月 東北大学大学院工学研究科（建設工学専攻）博士課程修了

学位

昭和36年3月 工学博士（東北大学）「建築物外装材料の凍害に関する基礎的研究」

職歴

昭和36年4月 特殊法人日本学術振興会奨励研究員
昭和38年4月 東北大学助手（工学部）
昭和41年5月 東北大学助教授（工学部）
昭和57年4月 東北大学教授（工学部）（建築材料科学講座担任）
昭和60年10月 東北大学補導協議会協議員
昭和61年4月 建築構造学講座兼担
平成4年4月 建築設備計画講座兼担
平成6年4月 建築計画第一講座兼担
平成7年3月 退官
平成7年4月 東北大学名誉教授

所属学会

日本建築学会
日本コンクリート工学協会
日本雪工学会
日本建築仕上学会
セメント・コンクリート研究会

学会ならびに社会における活動

日本コンクリート会議海外連絡委員会コンクリート耐久性委員会委員（昭和41年度）
日本建築学会東北支部常議員（昭和45-46年度，昭和54-55年度）
日本建築学会東北支部学術研究委員会材料部会長（昭和46-55年度，平成元-2年度）
日本コンクリート工学協会コンクリート技士試験（第1回，第4回，第9回，第10回）
試験監督員補佐（昭和46, 48, 53, 54年度）
日本コンクリート工学協会コンクリート技士試験（第2回，第8回，第11回，第12回）
試験監督員代理（昭和47, 52, 55, 56年度）
日本建築学会学術委員会審査部会論文審査員（昭和48年～）
日本コンクリート工学協会コンクリート技士試験（第5回，第6回，第7回，第13回，第14回）
試験監督員（昭和49, 50, 51, 57, 58年度）
日本コンクリート工学協会コンクリート技士試験委員会委員（昭和49-50年度）
日本建築学会評議員（昭和56-57年度）
セメント・コンクリート研究会幹事（昭和60-平成6年度）
東北後施工アンカー研究会寒地コンクリート特別委員会委員長（昭和60年度）
日本コンクリート工学協会コンクリート技士登録研修委員会委員（昭和61-62年度）
日本雪工学会理事（昭和61年度～）
日本雪工学会組織委員会副委員長（昭和61-63年度）
日本雪工学会建物損傷委員会委員長（昭和61年度～）
日本コンクリート工学協会理事（昭和62-63年度）
日本雪工学会組織委員会委員長（平成元年度～）
日本雪工学会運営委員会委員（平成2年度～）
日本建築学会理事・東北支部長（平成4-5年度）
日本建築学会材料施工委員会本委員会委員（平成4年度～）
日本建築学会東北支部研究委員会委員長（平成5年度）
日本雪工学会法人化委員会副委員長（平成6年度～）

宮城県技術指導員（昭和61-平成元年度）
日本コンクリートアンカー工業協会東北支部顧問（昭和62-平成5年度）
（財）東北産業技術開発協会加速の技術開発支援事業推進委員会委員（昭和62年度）
宮城県固定資産評価審議会委員（会長）（昭和62年度～）
宮城県地価調査懇談会委員（平成3年度～）
エコマテリアル研究会顧問（平成5年度～）
日本建築あと施工アンカー協会東北支部顧問（平成6年度～）

著 作 目 録

1. 論 文

栗山 寛, 吉岡 丹, 重倉祐光, 平井和喜

寒冷多雪地帯鉄筋コンクリート造陸屋根被害調査報告(其1)

東北大学建築学報 第4号 pp. 88-113 1956.3

吉岡 丹, 平井和喜, 石川敬三, 襲田光昭

ボゾリスを使用したコンクリートの鉄筋との付着強度について

東北大学建築学報 第5, 6号 pp. 38-44 1958.3

平井和喜

モルタルの凍害に及ぼす凍結持続時間の影響

— 一気中凍結12時間以内の場合について —

日本建築学会論文報告集 第70号 pp. 1-6 1962.3

栗山 寛, 平井和喜

厚型スレート凍害判定方法

東北大学建築学報創立10周年記念号 pp. 60-76 1964.3

平井和喜

東北地方の凍害状況

コンクリートジャーナル Vol.4 No.11 pp. 97-102 1966.11

平井和喜

モルタルの凍害におよぼす養生の影響

東北大学建築学報 第12号 pp. 1-8 1967.3

平井和喜

シーリング材の耐候性

建築技術 7月号 No.227 pp. 97-102 1970.7

平井和喜

油性コーキング材の耐候性

— 屋外暴露試験によるシール効果について —

東北大学建築学報 第14号 pp. 1-10 1972.11

平井和喜, 渡辺正朋

長期材齢にわたるコンクリートの強度性状

東北大学建築学報 第18号 pp. 1-14 1977.6

平井和喜

セメントモルタルの凍害に及ぼす凍結温度勾配の影響に関する実験的研究 (I)

— 動弾性係数比の変化について —

日本建築学会論文報告集 第258号 pp. 9-17 1977.8

平井和喜

同 (II) — スケーリングについて —

日本建築学会論文報告集 第262号 pp. 23-31 1977.12

平井和喜

同 (III) — 寸法変化について —

日本建築学会論文報告集 第263号 pp. 1-9 1978.1

平井和喜

同 (IV) — 凍結融解試験における促進性について —

日本建築学会論文報告集 第264号 pp. 13-19 1978.2

K. Hirai

Effect of the rate of cooling on the results of freezing and thawing mortar
Proceedings of The 23rd Japan Congress on Materials Research, The
Society of Materials Science Japan pp.275-281 1980.3

平井和喜, 川上勝弥

風化セメントモルタルの細孔分布と諸性状

セメント技術年報 第34号 pp. 211-214 1980.5

K. Hirai and K. Kawakami

Strength, Durability and Porosity of Effloresced Cement Mortar

Review of the Thirty-Fourth General Meeting — Technical Session —
The Cement Association of Japan pp.118-120 1980.5

平井和喜

軽量気泡コンクリートの吸水特性と凍害に関する研究

日本建築学会論文報告集 第292号 pp. 118-120 1980.6

K. Hirai, M. Watanabe, K. Kawakami and K. Gotoh

Application of Polymer-modified Mortar in the Renovation of a Concrete
Structure showing Deterioration due to Frost Action

Proceedings on The 3rd International Congress on Polymers in Concrete
pp.347-359 1981.5

平井和喜

東北地方における骨材品質の現状

セメント・コンクリート No.415 pp. 37-42 1981.9

K. Hirai and K. Kawakami

Strength and Frost Resistance of Air-entrained Neo-ferrite Cement Mortar
東北大学建築学報 第21号 pp. 53-61 1981.9

平井和喜, 成田 健, 川上勝弥

東北地方におけるコンクリート用砕石の品質
東北大学建築学報 第22号 pp. 33-41 1983.3

K. Hirai

Effect of the Blast-furnace Slag Content on the Frost Resistance of Neo-ferrite Cement Mortar
PROCEEDINGS OF THE CANMET/ACI FIRST INTERNATIONAL CONFERENCE ON THE USE OF FLY ASH, SILICA FUME, SLAG AND OTHER MINERAL BY-PRODUCTS IN CONCRETE Vol.2
pp.1039-1057 1983.7

平井和喜

寒冷地における鉄筋コンクリート造建物の耐久性に関する研究
日本雪工学研究会 雪工学研究会報 No.1 pp. 41-48 1985.10

平井和喜

寒冷積雪地における建物の損傷と気温との関係
東北大学建築学報 増刊号 pp. 45-53 1986.3

平井和喜

東北地方における建物外装の損傷に関する気候要素の特性
日本雪工学会 第3回雪工学シンポジウム論文報告集 pp. 77-82 1987.1

平井和喜, 成田 健

セメントモルタルの細孔分布に及ぼす初期養生条件の影響
東北大学建築学報 第26号 pp. 31-48 1987.3

鄭 載東, 平井和喜, 三橋博三, 成田 健

コンクリートの中性化に関する研究の現状と課題
東北大学建築学報 第26号 pp. 49-59 1987.3

平井和喜, 成田 健

セメントモルタルの細孔分布に及ぼす初期高温養生の影響
コンクリート工学年次論文報告集 第9巻 第1号 pp. 163-168 1987.6

渡辺正朋, 平井和喜

屋根葺材と雪氷の摩擦に関する研究 (その1)
主要な屋根葺材と氷ブロックの静摩擦
日本雪工学会誌 第3号 pp. 1-11 1987.6

平井和喜, 三橋博三, 成田 健, 目黒朝樹

寒冷積雪地における住宅外装の損傷とその対応に関する調査 (概要)

日本雪工学会 第4回雪工学シンポジウム論文報告集 pp. 111-116 1988.1

伊藤憲雄, 平井和喜, 成田 健

建築外装材料の凍結融解に関する最高・最低気温の分布

— 東北地方主要都市について —

日本雪工学会第4回雪工学シンポジウム論文報告集 pp. 123-126 1988.1

平井和喜, 三橋博三, 成田 健, 星野正宏

東北地方に現在する木造体育館・講堂の構法に関する調査研究

東北大学建築学報 第27号 pp. 15-29 1988.3

平井和喜, 三橋博三, 成田 健, 大塚昭作, 小出 昇

コンクリート系複合材料の開発に関する基礎的研究

東北大学建築学報 第27号 pp. 31-37 1988.3

K. Hirai, H. Mihashi, S. Otsuka and N. Koide

Experimental Study on Strength Properties of Vinylon Fiber Reinforced Mortar

CAJ, Review of the 42nd General Meeting / Technical Session pp.356-358 1988.5

K. Hirai, H. Mihashi, T. Narita, K. Kawakami and Y. Saitoh

Field Observation and Experimental Investigation on Pop-outs as Frost Damage in Concrete

Proceedings, Workshop on Low Temperature Effect on Concrete Canada / Japan Science and Technology Cooperative Agreement pp.352-369 1988.9

平井和喜

積雪寒冷地における住宅外装の損傷とその対応に関する調査研究

住宅・土地問題研究論文集〔第13集〕

(財)日本住宅総合センター PP. 219-236 1988.9

渡辺正朋, 平井和喜

屋根葺材と雪氷の摩擦に関する研究 (その2)

屋根葺材に対する雪氷の滑走速度及び動摩擦

日本雪工学会誌 No.9 pp. 4-15 1988.12

渡辺正朋, 平井和喜

屋根葺材に対する雪氷の滑走運動(滑走開始勾配で発生する氷滑動体の滑走速度)

日本雪工学会 第5回雪工学シンポジウム論文報告集 pp. 103-106 1989.1

- 日本雪工学会建物損傷委員会，平井和喜，四戸英男，田代 侃
 積雪・寒冷による建物の損傷に関する調査研究（１）
 調査概要および各種資料の採用状況
 日本雪工学会 第５回雪工学シンポジウム論文報告集 pp. 227-232 1989. 1
- 日本雪工学会建物損傷委員会，平井和喜，四戸英男，最知正芳
 積雪・寒冷による建物の損傷に関する調査研究（２）各種関連資料の保有状況
 日本雪工学会 第５回雪工学シンポジウム論文報告集 pp. 233-240 1989. 1
- 日本雪工学会建物損傷委員会，平井和喜，四戸英男，成田 健
 積雪・寒冷による建物の損傷に関する調査研究（３）部位別損傷の発生傾向
 日本雪工学会 第５回雪工学シンポジウム論文報告集 pp. 241-248 1989. 1
- 平井和喜，三橋博三，成田 健
 積雪寒冷地における住宅外装の損傷とその対策に関する調査研究（外装の構成と気候との関係）
 日本雪工学会 第５回雪工学シンポジウム論文報告集 pp. 249-254 1989. 1
- 伊藤憲雄，平井和喜，成田 健
 冬季に曝露したコンクリート板の温度変化の及ぼす気候要素の影響
 日本雪工学会 第５回雪工学シンポジウム論文報告集 pp. 259-266 1989. 1
- 平井和喜，三橋博三，成田 健
 コンクリート建築物の凍害を中心にした耐久性設計に関する一考察
 東北大学建築学報 第28号 pp. 17-27 1989. 3
- 平井和喜
 建物外装の凍害に関する気象特性について
 第６回日本雪工学会大会論文報告集 pp. 53-58 1989. 11
- 成田 健，三橋博三，平井和喜
 上昇，下降を伴う凍結温度履歴下でのモルタルの劣化特性
 セメント・コンクリート論文集 No.43 pp. 442-447 1989. 12
- 鄭 載東，平井和喜，三橋博三
 中性化速度に及ぼすコンクリートの調合及び細孔構造の影響に関する実験的研究
 コンクリート工学論文集 Vol.1 No.1 pp. 61-73 1990. 1
- 鄭 載東，平井和喜，三橋博三
 有孔型枠を用いたモルタル表層部の微細構造変化と中性化遅延効果
 コンクリート工学論文集 Vol.1 No.1 pp. 75-84 1990. 1
- 鄭 載東，平井和喜，三橋博三
 モルタルの中性化速度に及ぼす温度・湿度の影響に関する実験的研究
 コンクリート工学論文集 Vol.1 No.1 pp. 85-93 1990. 1

- 栗田 浩, 三橋博三, 平井和喜
コンクリートの内部構造評価への画像処理手法の利用に関する基礎的研究
東北大学建築学報 第29号 pp. 47-56 1990.3
- 成田 健, 大塚昭作, 三橋博三, 平井和喜
コンクリートの圧縮強度と弾性係数についての一考察
東北大学建築学報 第29号 pp. 57-66 1990.3
- 沼尾達弥, 三橋博三, 平井和喜
コンクリート中の微細構造と水分移動及び乾燥収縮のメカニズム
東北大学建築学報 第29号 pp. 67-86 1990.3
- 日本雪工学会建物損傷委員会, 平井和喜, 田代 侃, 最知正芳, 成田 健
積雪・寒冷による建物の損傷に関する調査研究
日本雪工学会誌 Vol.6 No.3 pp. 28-44 1990.9
- 伊藤憲雄, 平井和喜
コンクリート床板上における降・融雪量の自動測定
第7回日本雪工学会大会論文報告集 pp. 23-26 1990.11
- 渡辺正朋, 平井和喜
屋根葺材の滑雪抵抗に関する研究(1)
一摩擦抵抗から見た着色亜鉛鉄板の表面粗さ一
第7回日本雪工学会大会論文報告集 pp. 31-34 1990.11
- 山本 忠, 成田 健, 三橋博三, 平井和喜
石炭灰砂モルタルの耐凍害性能に関する実験的研究
第7回日本雪工学会大会論文報告集 pp. 89-96 1990.11
- 平井和喜, 成田 健
あと施工アンカーの耐力に及ぼすコンクリートの凍害劣化の影響
第7回日本雪工学会大会論文報告集 pp. 97-102 1990.11
- 成田 健, 三橋博三, 平井和喜
モルタルの凍害劣化に及ぼす骨材粗粒率の影響に関する一考察
セメント・コンクリート論文集 No.44 pp. 412-416 1990.12
- 平井和喜, 田代 侃, 渡辺正朋, 会沢浩平, 小川 淳, 成田 健, 四戸英男
寒冷積雪地における建物の損傷とその防止対策
日本雪工学会誌 Vol.7 No.1 pp. 28-36 1991.1
- 成田 健, 三橋博三, 平井和喜, 山本 忠
繊維補強石炭灰砂モルタルの耐凍害性に関する実験的研究
コンクリート論文集 Vol.2 No.1 pp. 67-75 1991.1

成田 健, 三橋博三, 平井和喜

コンクリートの凍害劣化特性と寿命予測の確率モデルに関する考察

東北大学建築学報 第30号 pp. 53-62 1991.3

佐藤雅人, 有川 智, 三橋博三, 平井和喜

生活空間としての学校建築に関する調査研究 — その素材とイメージ —

東北大学建築学報 第30号 pp. 71-79 1991.3

T. Narita, H. Mihashi, K. Hirai and T. Umeoka

Evaluation of Deterioration of Mortar Due to Freezing and Thawing by Image Processing Method

TRANSACTIONS OF THE JAPAN CONCRETE INSTITUTE Vol.13
pp.231-238 1991.12

平井和喜, 成田 健, 桐越一紀

鉄筋コンクリート造建物外装の耐久性調査報告

— 山形県における小・中学校施設 —

第8回日本雪工学会大会論文報告集 pp. 57-62 1992.1

平井和喜

東北地方主要6都市における戸建て住宅の外装構成に関する調査研究

東北大学建築学報 増刊号(平成3年度特定研究) pp. 29-38 1992.3

平井和喜, 三橋博三, 成田 健, 有川 智, 伊藤憲雄

仙台市内における鉄筋コンクリート造建物の外装の損傷調査

東北大学建築学報 増刊号(平成3年度特定研究) pp. 39-49 1992.3

伊藤憲雄, 成田 健, 三橋博三, 平井和喜

試験体寸法が凍結融解試験に及ぼす影響

コンクリート工学年次論文報告集 Vol.14 No.1 pp. 993-996 1992.6

平井和喜

無機系多孔質外装材料の凍害に関する東北地方の凍結融解サイクル数と気候要素との関連性

日本雪工学会誌 Vol.9 No.1 pp. 1-10 1993.1

長瀬雅嗣, 有川 智, 三橋博三, 平井和喜

商業建築の陳腐化に関する生態学的考察

東北大学建築学報 第32号 pp. 87-97 1993.3

平井和喜, 閻 学謙

混凝土凍害劣化与預防措施

特殊結構 10巻 2号 pp. 41-45 中国北京市市政建設設計院・建設部
1993.6

三橋博三, 成田 健, 平井和喜

コンクリートの凍害劣化確率モデルに関する研究

日本建築学会構造系論文報告集 No.450 pp. 1-6 1993. 8

有川 智, 平井和喜, 三橋博三

小学校施設における床と児童の「姿勢」に関する考察

—空間構成材料の認知工学に関する基礎的研究(第1報)

日本建築学会構造系論文報告集 No.450 pp. 15-23 1993. 8

成田 健, 三橋博三, 平井和喜, 田畑雅幸

凍害劣化確率モデルの構成要素に及ぼす影響要因の考察

日本建築学会構造系論文報告集 No.455 pp. 1-6 1994. 1

K. Hirai

RELATIONSHIP BETWEEN EXTERNAL COMPONENTS INCLUDING MATERIALS FOR RECENT HOUSES, AND CLIMATE IN WINTER

Proc. of the International Symposium on Management, Maintenance and Modernisation of Building Facilities (5-6) pp.567-574 CIB W70 TOKYO SYMPOSIUM 1994.10

中村 裕, 三橋博三, 桐越一紀, 平井和喜

各種鋼繊維を用いた鋼繊維補強コンクリートの破壊挙動及び引張軟化特性に関する実験的研究

東北大学建築学報 第33号 pp. 39-49 1994. 3

Jae Dong Jaung and Kazunobu Hirai

Changing Property and Resistance to Carbonation of Mortar Cast with Hilded Molds

KOREA-JAPAN COLLOQUIUM "BEHAVIOR OF WATER IN CEMENT AND CONCRETE" Vol. I pp.47-53 1995.3

佐々木直人, 有川 智, 平井和喜, 三橋博三

床のすべりやすさと高齢者の歩行特性との関係に関する一考察

東北大学建築学報 第34号 pp. 55-61 1995. 3

2. 編 著 書

建築材料実験用教材 日本建築学会 第1版 1968. 4 (共著)

建築材料用教材 日本建築学会 第3版 1978. 7 (共著)

東北地方におけるコンクリート用骨材の生産及び品質に関する調査研究

日本建築学会東北支部 1979. 3 (共著)

Autoclaved Aerated Concrete, Moisture and Properties Edited by Folker H. Wittmann

ELSEVIER SCIENTIFIC PUBLISHING COMPANY 1983 (共著)

東北地方に於ける建築構造物の耐久性に関する調査研究

日本建築学会東北支部 1991.3 (編集代表, 共著)

WASTE MATERIALS IN CONSTRUCTION Studies in Enviromental Science 48

Edited by J. J. J. M. Goumans, H. A. Vander Sloot and Th. G. Aalbers

ELSEVIER SCIENTIFIC PUBLISHING COMPANY 1991.11 (共著)

東北地方における建築用高強度コンクリート

東北高強度コンクリート研究会 1993.10 (編集, 共著)

セメント・コンクリート中の水の挙動

セメント・コンクリート研究会水委員会 1993.10 (編集, 共著)

Durability of Building Materials and Components Edited by S. NAGATAKI, T. NIREKI AND

F. TOMOSAWA E & FN SPON 1993.10 (共著)

積雪寒冷地建築物外装の損傷とその防止対策

日本雪工学会建物損傷委員会 1994.1 (編集代表, 共著)

21世紀への「建築と材料のニーズとシーズを探る」

日本建築学会材料施工委員会 1994.10 (共著)

コンクリート12講 東北大学工学部建築学科 1995.2

東北地方における屋根防水の現状と問題点

日本建築学会東北支部 1995.3 (調査計画, 編集)

BEHAVIOR OF WATER IN CEMENT AND CONCRETE Volume I , Volume II KOREA-JAPAN COLLOQUIUM

The Korean Ceramic Society, Cement Committee and The Japan Union of Cement and Concrete Water Committee 1995.3 (共著)

平井和喜教授退官記念論文選集 [I]

建築物の損傷・耐久性調査と気候要素の分析に関する研究

東北大学工学部建築学科 1995.3

平井和喜教授退官記念論文選集 [II] コンクリートの凍害に関する研究

東北大学工学部建築学科 1995.3

平井和喜教授退官記念論文選集〔Ⅲ〕コンクリートの中性化に関する研究
東北大学工学部建築学科 1995.3

平井和喜教授退官記念論文選集〔Ⅳ〕コンクリートに関する研究
東北大学工学部建築学科 1995.3

3. 随筆・科学コラム

高齢化社会における建物の高齢化 建築仕上技術 Vol.12 1月号 1987.1

地域特性の凝視 日本建築学会編「断熱防水工事デザインと施工」
彰国社 1988.11

パンフィック・サイエンスセンター「世界のコンクリート見てある記」
コンクリート工学 1月号 1993.1

火災 ― 技術と人間 ― ブリズム(1) 河北新報 1993.3.8

長寿社会の建築の高齢化 ブリズム(2) 河北新報 1993.3.15

ビルディングドクター ブリズム(3) 河北新報 1993.3.29

住まいと長く付き合うために ブリズム(4) 河北新報 1993.4.5

住まいの構成材料 ブリズム(5) 河北新報 1993.4.12

長持ち住宅の設計 ブリズム(6) 河北新報 1993.4.19

住宅の損傷と住人の悩み ブリズム(7) 河北新報 1993.4.26

住宅の屋根 ― 瓦と鉄板 ― ブリズム(8) 河北新報 1993.5.3

「ことわざ」の教えるもの ブリズム(9) 河北新報 1993.5.10

建築材料の移り変わり ブリズム(10) 河北新報 1993.5.10

人とのかわり「閑話奥の細道」 建設通信新聞 (1993.11.1)

文化と技術 Culture and Technology ― 私の視点 ―
日本雪工学会誌 Vol.11 No.2 1995.4

4. 学術講演

SD 法について 日本建築学会東北支部研究委員会環境部会 1981.2

鉄筋コンクリート造建物の劣化とその再生 ABC 商会研修会 1983.7

凍結融解による多孔質材料劣化のメカニズム

宮城県コンクリート製品協同組合 1984.1

建築物の寿命 ― 高齢化社会における建築物の高齢化 ―

東北大学建築学科談話会 1984.10

コンクリート断面の性状変化 東北後施工アンカー研究会 1984.11

コンクリート製品の凍結融解について 宮城県工業技術センター 1985.2

寒冷地コンクリートの凍害に関する気象因子について

東北後施工アンカー研究会寒冷地コンクリート特別委員会 1985.7

建物外装材料の凍結融解について

日本建築学会東北支部研究委員会施工部会 1985.11

東北地方における住宅の内外装材料の使用状況 建築仕上げ材料懇談会 1985.12

コンクリート及びその二次製品の凍害現象と原因・対策

長野県コンクリート製品協同組合 1985.12

コンクリートの凍害 ― 現象・メカニズム・評価技術 ―

宮城県工業材料分析センター 1986.10

コンクリートの凍害機構とその防止策 産業技術研究会 1987.7

骨材に起因するコンクリートの劣化 ― 凍結融解・アルカリ骨材反応 ―

セメント協会 1987.9

新素材の建築分野への応用 宮城県工業材料分析センター 1987.11

コンクリート構造物の耐久性について 宮城県工業技術センター 1988.9

建物の傷むことと直すこと

第15回セメント・コンクリート研究会招待講演 1988.10

凍結融解によるコンクリートの層状劣化の評価 東北後施工アンカー協会 1989.3

東北地方における建築物の損傷と建築外装の構成・材料

東北アスク会総会招待講演 1989.6

凍害の機構とその防止策 産業技術研究会 1989.10

コンクリートと環境 宮城県工業技術センター 1990.1

建築物の耐久性と環境 全国外装補修工事業協同組合連合会総会招待講演 1990.5

最近における日本の建築物について ― 仙台市を中心に ―

中国土木工程学会橋梁結構工程学会招待講演 1991.11

高強度コンクリートの技術 清華大学（中国北京市）招待講演 1993.4

最近における日本の建築物について — 仙台市を中心に —
中国北京市建築家協会招待講演 1993.4

建築物と長く付合うために 互光グループ総会招待講演 1994.5

コンクリートの凍害について

韓国セメント協会, 日本セメント・コンクリート研究会 セメントコンクリート
技術に関する海外研究集会 1995.3

5. 外国出張

システムハウジング, 特に性能と生産性の調査研究のため
アメリカ合衆国 1972.7.7-16

軽量気泡コンクリートに関する国際会議研究発表及び建築の性能と工業化に関する
調査研究のため

スイス, ドイツ, スウェーデン 1982.3.26-4.6

第1回省資源省エネルギーのための産業副産物利用に関する国際会議研究発表及び
建築性能と工業化に関する調査研究のため

カナダ 1983.7.30-8.13

韓国における建築の工業化に関する調査研究のため

大韓民国 1984.8.6-12

ヨーロッパ主要国における建築仕上げ材料の開発と工法調査及び情報収集のため
西ドイツ, フランス, イギリス, オランダ 1985.5.17-26

セメントへの高炉スラグ利用に関する台湾セミナー研究発表のため

台湾（中国） 1986.5.28-6.1

金属系外装材料の使用及び開発に関する調査研究のため

アメリカ合衆国, メキシコ 1989.3.12-23

Wascon '91 建築工事に伴う廃棄物と環境との係わりに関する国際会議研究発表及
び建築仕上げ材料開発動向調査のため

オランダ, ベルギー, ドイツ 1991.11.8-17

学術研究会招待講演, 同済大学訪問及び中国における建築仕上げ材料の研究開発
動向調査のため

中華人民共和国 1991.11.22-29

シアトルセンター（ミノル・ヤマサキ設計）の外装構成調査研究のため

アメリカ合衆国 1992.6.21-29

清華大学，北京市建築家会館での招待講演及び中国におけるコンクリート研究動向調査のため

中華人民共和国 1993.4.1-7

バンクーバー，ビクトリアの建築・庭園視察のため

アメリカ合衆国，カナダ 1993.9.22-10.1

住宅用金属系外装材料の生産及び利用状況に関する調査研究のため

アメリカ合衆国 1994.3.17-26

シアトル，バンクーバーの建築・庭園視察のため

アメリカ合衆国，カナダ 1994.6.5-12

セメントコンクリート技術に関する海外セミナー出席講演及び韓国におけるコンクリート研究に関する研究動向調査研究のため

大韓民国 1995.3.25-30

米国太平洋沿岸地域の著名なコンクリート造施設視察のため

アメリカ合衆国 1995.7.14-23

